

# 与那国駐屯地への地对空誘導弾部隊の 配備に関する説明会

令和5年5月15日（月）  
防 衛 省

## ご来場の皆様へのお願い

- ① 会場及び敷地内での、拡声器やのぼり旗、プラカード等の持ち込み、使用は禁止となります。
- ② 大声等により進行を妨げる行為は慎んでください。
- ③ 係員の指示に従ってください。
- ④ 会場内は全て禁煙となっておりますので、喫煙される方は所定の場所をご利用ください。

ご来場の町民の皆様が、十分に説明を聴くことができるよう、皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

なお、他の皆様に迷惑となる行為が確認された場合には、退場して頂くこともございます。

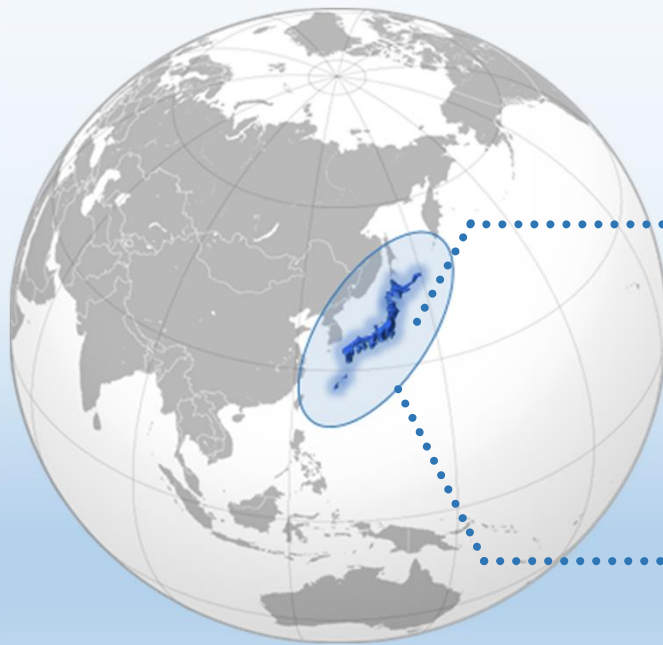
- I. 我が国を取り巻く安全保障環境・情勢認識**
- II. 与那国島への中距離地对空誘導弾部隊配備の意義**
- III. 部隊配備検討地域における施設整備**
- IV. まちづくり、国民保護**
- V. 質疑応答**

# I .我が国を取り巻く安全保障環境・情勢認識

## ① 国の防衛の必要性

### 国際社会が戦後最大の試練の時を迎える中で日本は

- ✓ 我が国周辺の安全保障環境は世界的にも特に厳しく、欧州で起きていることは**この地域でも起こる可能性**があります。
- ✓ 「力による一方的な現状変更」を抑止するためには、**相手の能力に着目しつつ、新しい戦い方に対応できる防衛力を備えた国家**になる必要があります。



軍事力強化や軍事活動活発化の  
最前線に位置

東シナ海、南シナ海をめぐる  
問題に直面

## ② 我が国周辺の安全保障環境

### 我が国は、戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境に直面

- ✓ 中国、北朝鮮、ロシアが**軍事力を増強しつつ軍事活動を活発化**する中、我が国は**その最前線に位置**しています。
- ✓ インド太平洋地域における軍事活動の活発化が地域、ひいては国際社会全体にどのような影響を及ぼすか注視していく必要があります。
- ✓ 今後の我が国の安全保障・防衛政策の在り方が、**地域と国際社会の平和と安定に直結**します。

ロシア

ウクライナ侵略



北朝鮮が発射した  
新型 I C B M 級弾道ミサイル  
「火星17」型 (2022年11月)  
【朝鮮中央通信】

北朝鮮

核・ミサイル開発

日本

中国

尖閣諸島をめぐる問題  
力による一方的な  
現状変更の試みを執拗に継続

台湾

南シナ海をめぐる問題  
力による一方的な現状変更  
及びその既成事実化を推進

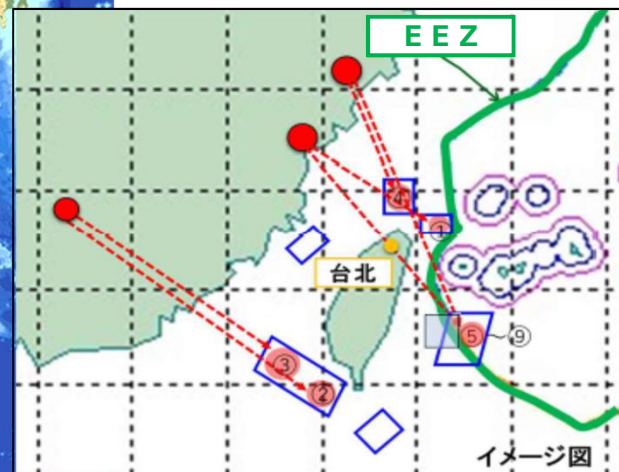
北方領土を含む極東に新型装備  
を配備【ロシア国防省】



キロ改級潜水艦  
2021年以降配備、「カリブル」  
巡航ミサイルを搭載



地对艦ミサイル「バスチオン」  
2016年以降、択捉島のほか、  
千島列島、南樺太に配備



中国が台湾周辺に発射した弾道ミサイル9発のうち  
**5発が我が国のEEZ内に着弾(2022年8月)**



中露艦艇が共同航行  
(2021年10月)

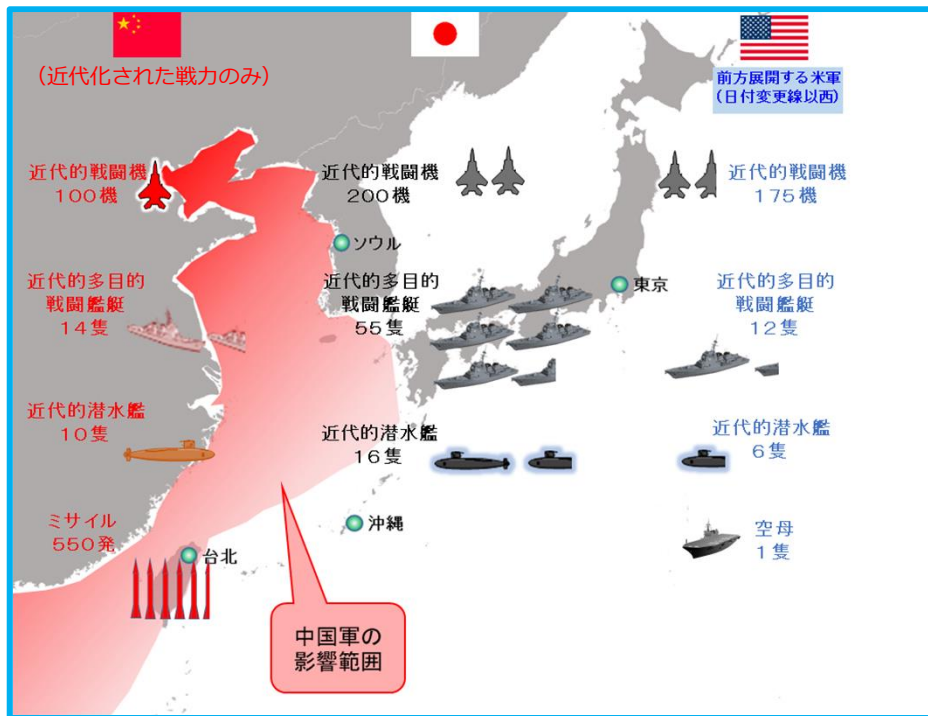


尖閣諸島周辺で活動する  
中国軍艦艇ジャンウェイ  
II級フリゲート

### ③ 我が国を取り巻く安全保障環境（戦略環境の変化）

#### 西太平洋における1999年の米中の能力

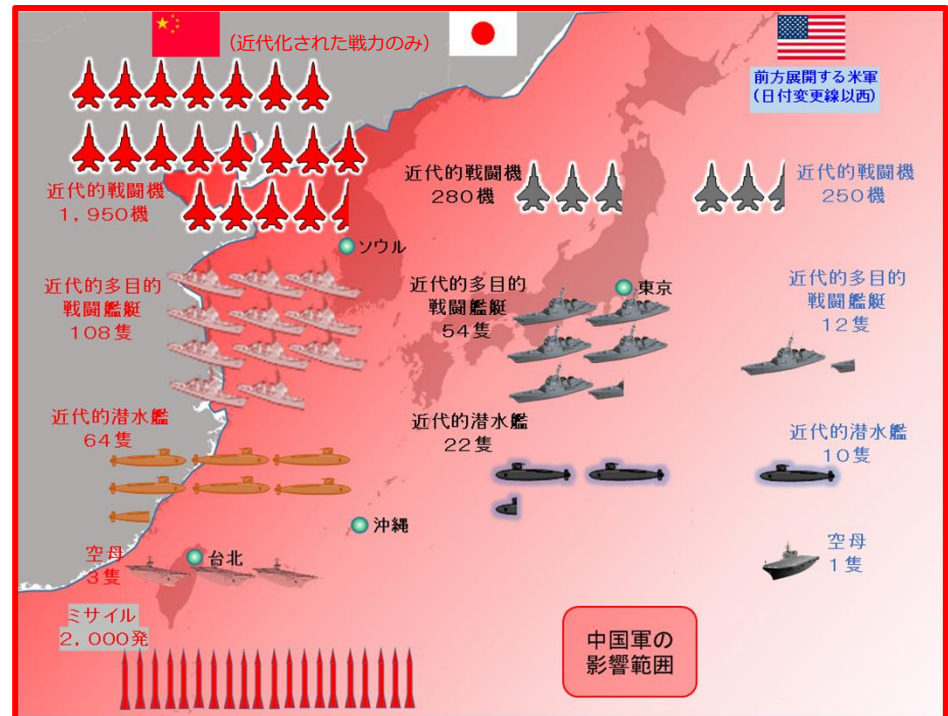
- 中国の軍事的影響圏は、第一列島線内にとどまっている



(インド太平洋軍作成資料を基に防衛省作成)

#### 西太平洋における2025年の米中の能力(予測)

- 影響圏は拡大し、米中の戦力バランスも中国側に優位に傾く



#### 凡例



: 近代化された戦力のみ × 100機



: 近代的多目的戦闘艦艇 × 10隻



: 近代の潜水艦 × 10隻



: 空母 × 1隻



: 弾道ミサイル × 100発

## Ⅱ.与那国島への中距離地对空誘導弾部隊 配備の意義



## ① 中距離地对空誘導弾について

与那国島には、  
空からの攻撃を防ぐための装備が常備されていません。

「中距離地对空誘導弾」は、

i

飛来するミサイルなどに対する  
防衛を目的とした装備品です

ii

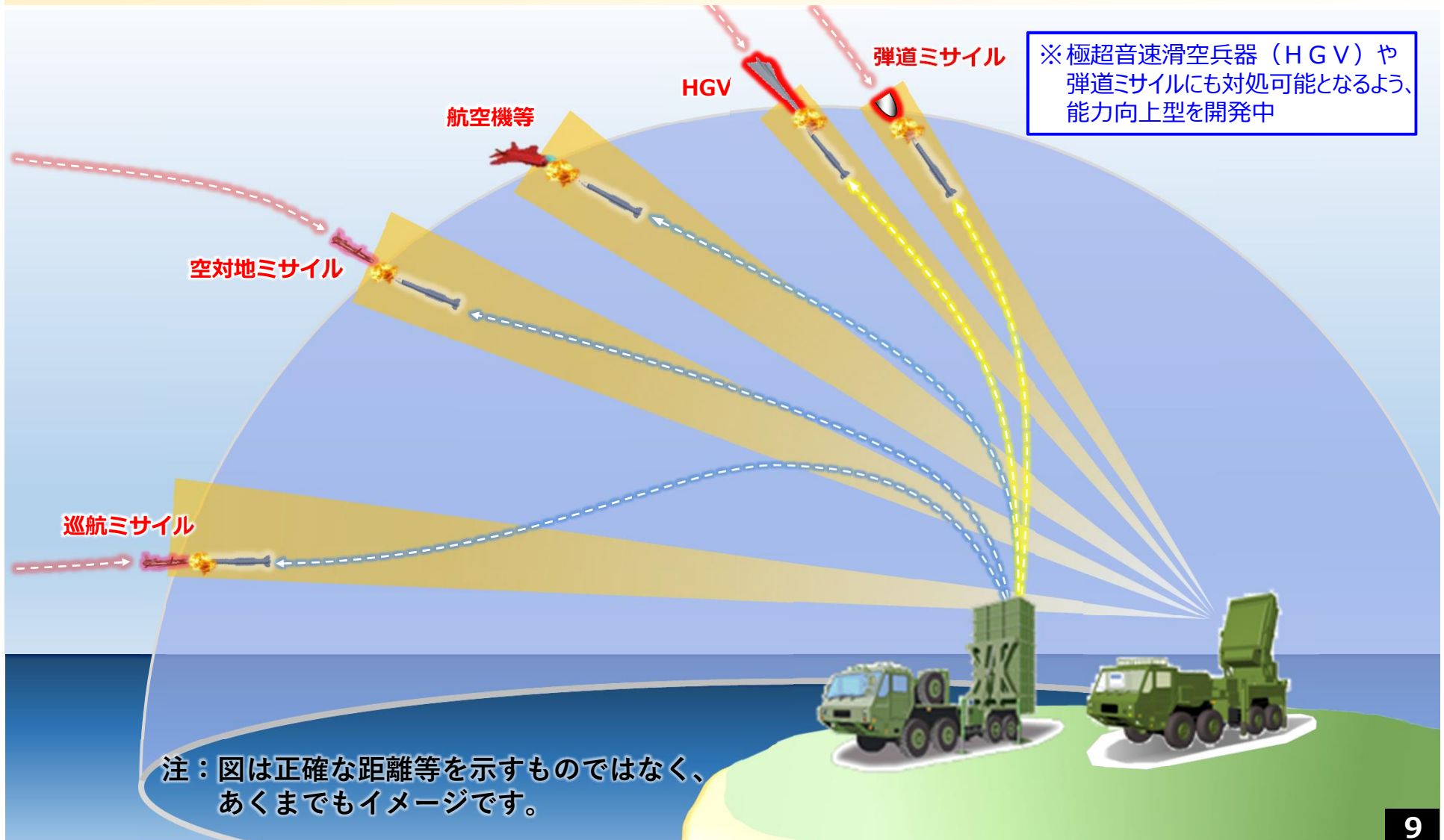
他国を攻撃するものではありません  
(いわゆる「反撃能力」ではありません)

iii

日本全国各地に配備されています

## ② 中距離地对空誘導弾の役割

中距離地对空誘導弾は  
飛来する脅威を遠方で防御することを目的としています



## 補足：我が国周辺の主な装備



航空機等：Su-35



航空機等：H-6爆撃機

巡航ミサイル（CJ-20）を搭載することが可能  
【令和4年度防衛白書から転載】



新型弾道ミサイル（極超音速ミサイル）

【朝鮮中央通信】

### ③ 配備予定の装備品

## 03式中距離地对空誘導弾（改善型）能力向上型

注：写真は、中SAM（改）のものです。



発射装置



射撃レーダー装置



射撃統制装置

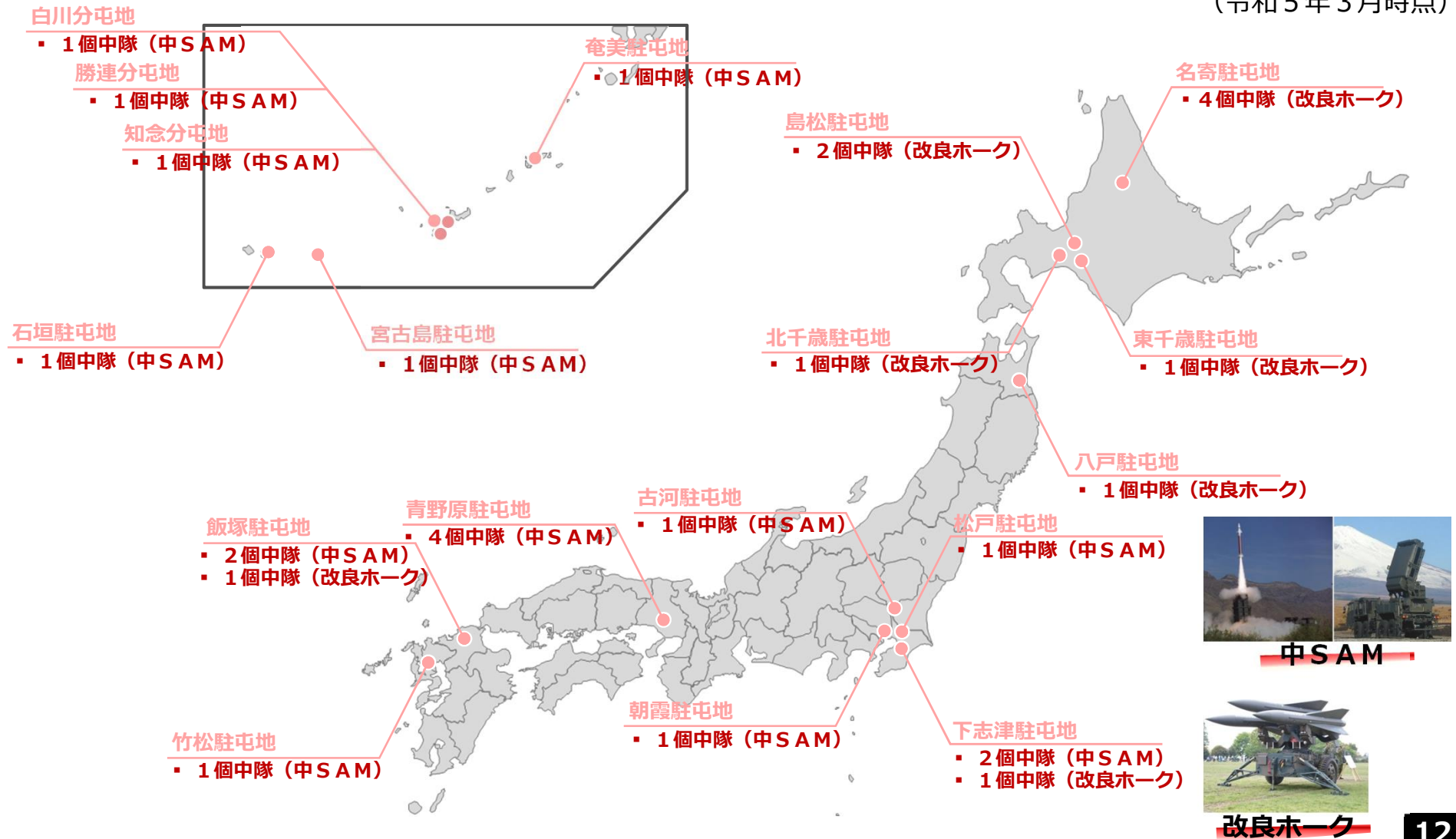


運搬装てん装置

## ④ 中距離地对空誘導弾部隊の配備状況

# 中距離地对空誘導弾部隊は 日本全国各地に配備されています

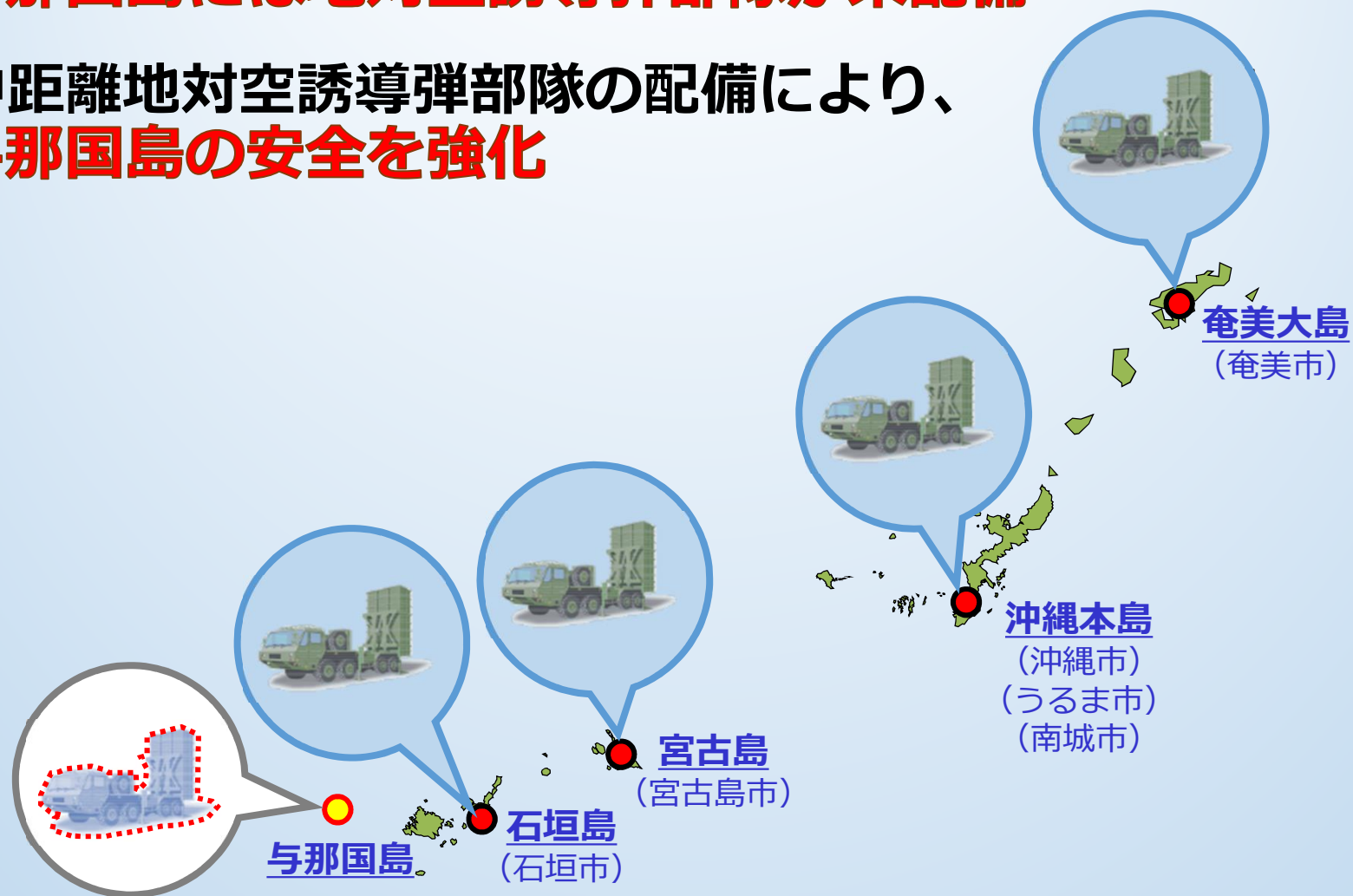
(令和5年3月時点)



## ⑤ 与那国島への中距離地对空誘導弾部隊配備の意義

(令和5年3月時点)

- ✓ 南西地域の主要島嶼部において  
**与那国島には地对空誘導弾部隊が未配備**
- ✓ 中距離地对空誘導弾部隊の配備により、  
**与那国島の安全を強化**



## ⑥ 与那国駐屯地の部隊編成

### 与那国駐屯地

(令和5年3月時点)

与那国沿岸監視隊

約110人

令和5年度配備(予定)

第101電子戦隊 (一部)

第301電子戦中隊 (一部)

(約40人)

今後追加(予定)

高射中隊(中SAM)

(検討中)※

その他部隊

約60人

※ 具体的な配備時期及び部隊規模等については、現在検討中。  
人数について一例を述べれば、石垣駐屯地には、高射中隊及び関連するその他の部隊が約100名所在。

## ⑦ 中距離地对空誘導弾部隊の運用（訓練）

# 中距離地对空誘導弾の実弾射撃訓練は 与那国島において実施することはありません

- ✓ 中距離地对空誘導弾の実弾射撃訓練は国外の射場で実施
- ✓ 与那国島内においては、駐屯地内の訓練場等において中距離地对空誘導弾の操作・展開訓練等を実施

### 訓練イメージ



操作訓練・展開訓練（非実射）



実弾射撃訓練

（※国外の射場で実施します）



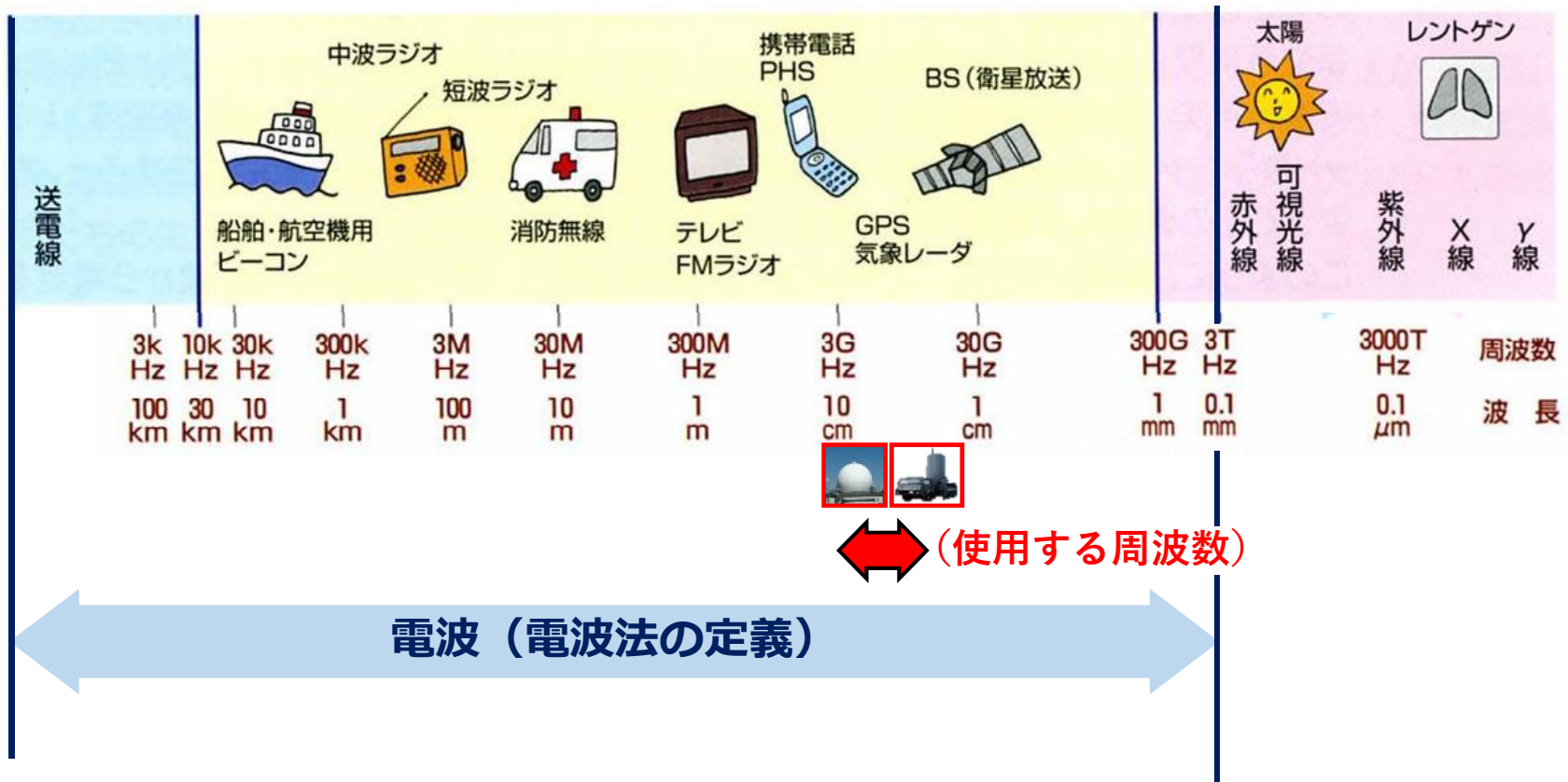
# 補足：射撃レーダー装置の電磁波の性質

## 使用する電波は

## 携帯電話等に使用される電波と同じ周波数帯です

- ✓ X線等のような細胞を直接傷つける可能性のある電磁波とは違います

周波数帯による電磁波の分類



## Ⅲ.部隊配備検討地域における施設整備

## ① 部隊配備検討地域

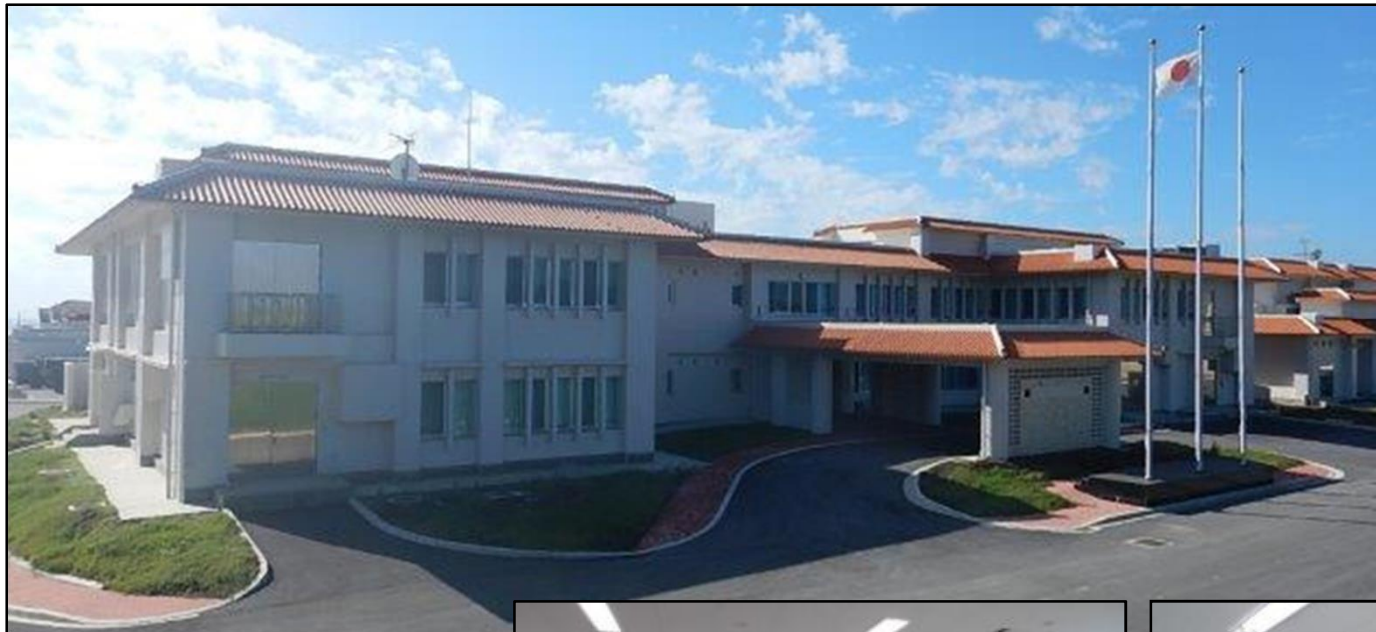
- ✓ 与那国駐屯地東側地域の用地（約18ha）を取得させていただき、中距離地对空誘導弾部隊を配備
- ✓ ①隊庁舎地区、②訓練場地区（小銃などの射撃訓練のための覆道射場含む。）、③火薬庫地区に区分して整備することを検討



注：用地の範囲、レイアウトはイメージです。

## ②-1 駐屯地施設のイメージ（隊庁舎）

- 隊員が事務を行う庁舎及び駐屯地内に居住する隊員のための隊舎を合棟にした施設です。



隊庁舎の建設例

## ②-2 駐屯地施設のイメージ（覆道射場）

- 屋内で小銃など射撃訓練を行う施設です。



- ✓ 全周を鉄筋コンクリートで囲っており、**弾が射撃場の外に出ることはありません。**
- ✓ 室内であるため**射撃の騒音は、ほとんどありません。**



## ②-3 駐屯地施設のイメージ（火薬庫）

- 中距離地对空誘導弾、警備に必要な小銃弾などを関係法令に基づき安全に保管する施設です。



## 補足：火薬庫の安全性

- ✓ 火薬類取締法などの関係法令に基づき、①火薬庫の整備、②適切に火薬類を貯蔵、③十分な保安距離の確保を実施
- ✓ 24時間態勢で警備を行うとともに火薬類の安全管理に必要な教育を行うなど、安全対策や事故防止の徹底
- ✓ 自衛隊の火薬庫において爆発事故が起きたことはありません。



### ③ 宿舎の整備

- ✓ 現在、与那国町に勤務する隊員及びその家族のため、島内に約100戸の自衛隊宿舎を整備しています。
- ✓ 今後は、部隊配備に関する具体的な検討状況を踏まえつつ、新たな宿舎の整備について検討してまいります。

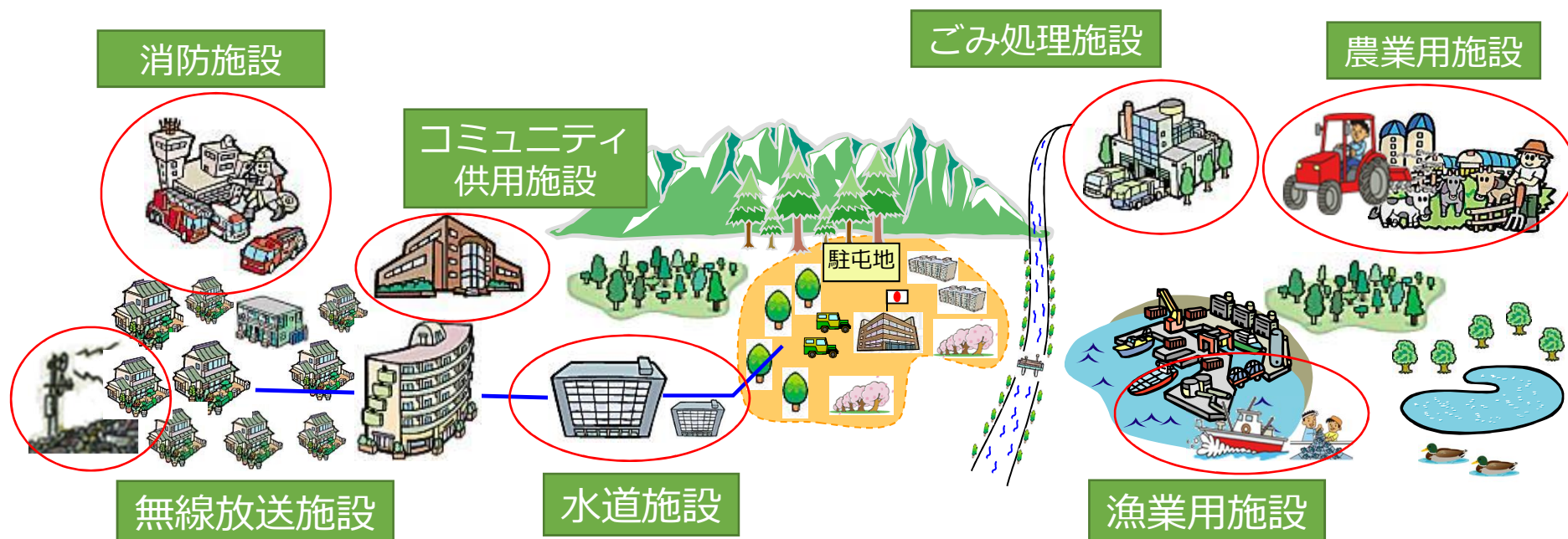
(参考：与那国駐屯地の宿舎)





## IV.まちづくり、国民保護

# ① 防衛省の補助事業について



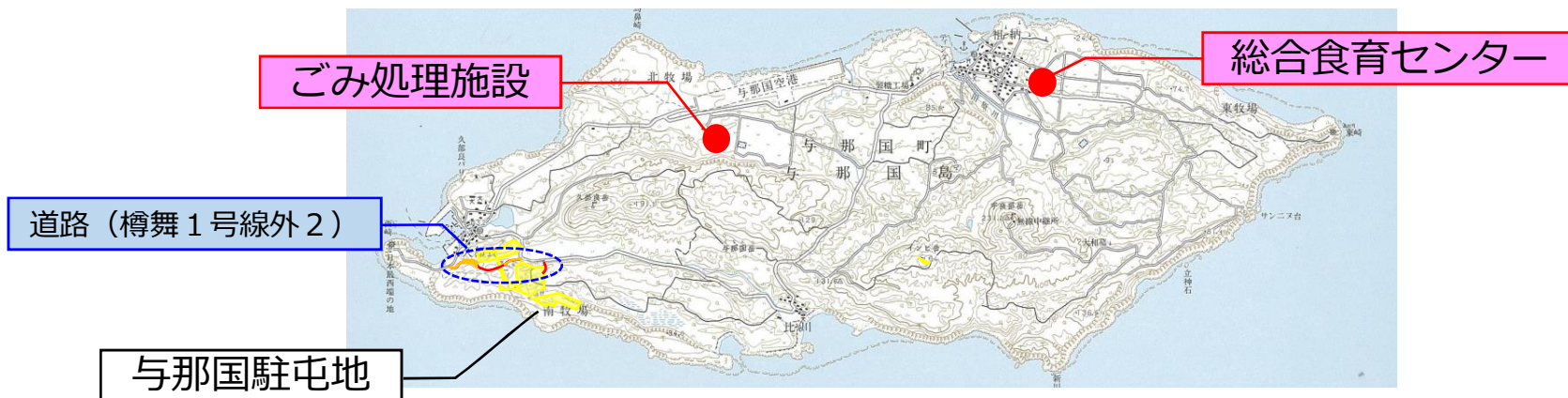
防衛省の補助事業は、防衛施設の設置又は運用による障害の実態を踏まえ、周辺住民の生活への影響を和らげることを目的としており、関係法令（※）に基づき、与那国町が行う公共施設の整備などのお手伝いをさせていただきます。

※防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律など

## ➤ 避難シェルターの設置について

与那国町長及び議会から避難シェルターの設置に関するご要望をいただいています。防衛省としては、政府の方針を踏まえて検討してまいります。

## ② 与那国町における防衛省補助の事例について



実施年度：  
平成26年度～令和3年度  
補助額：21億40百万円



実施予定年度：  
令和元年度～7年度  
補助額：2億96百万円※



実施予定年度：  
令和3年度～5年度  
補助額：4億45百万円※

※令和4年度までの実績額及び令和5年度の実施計画額の合計である。

### ③ 国民保護について

## 関係省庁と連携しながら、 住民の皆様への避難の支援等を行います

- ✓ 有事に際しては、武力攻撃より十分に先立って、住民の皆様の迅速な避難を実施することが、何よりも重要です。
- ✓ 自衛隊の保有する航空機や艦船等も活用し、住民の皆様の避難支援を含む国民保護の措置を計画的に行えるよう調整・協力してまいります。

### 国民保護共同訓練で避難支援を行う自衛隊員



## V. 質疑応答